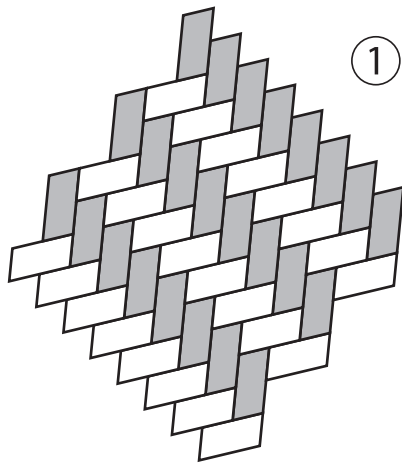




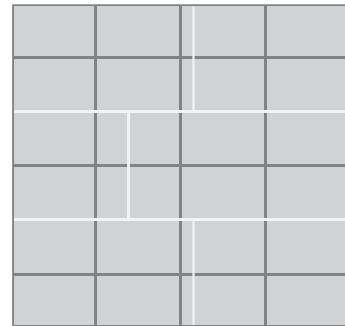
[特集] きゅうしみずていしよいん 旧清水邸書院内のカタチ

旧清水邸書院には、たのしいカタチがたくさんあります。
どこにあるか分かりますか？（ごろう）

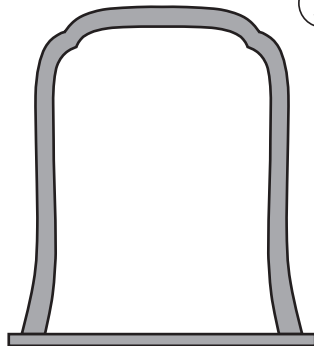
旧清水邸書院の利用案内
開館時間：9:00-16:30
(11月-2月は16:00まで)
開館日：日曜、祝日、第2月曜
(年末年始は閉館)



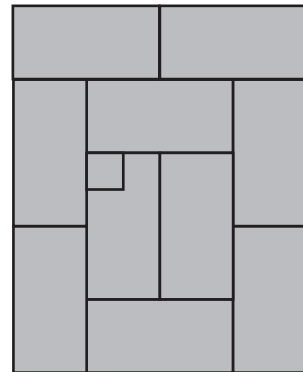
①



②



③



④

こたえ

②障子の張り方
大きな障子紙がなかった時代、小さな紙を継ぎ合わせていました。継ぎ目はワザとずらしてシタが
いられ、「千鳥張り」「石垣張り」などよばれます。
④本間の畳の敷き方
畳の敷き方には吉凶があり、畳の角同士を合わせ
ないこの敷き方は吉（祝儀敷き）。小さい畳の下
には、お茶会で湯を沸かすための「炉」が収めら
れています。

①次の間の天井の模様
茶室などで良く見られる天井。杉の板を編み込ん
でいて、特にこの形は「網代天井（矢羽根編）」
とよばれます。
③次の間にある棚の窓枠
花形（火焔形）に造った窓で「花頭窓（火灯窓）」
と呼ばれます。中国から伝来し、榎寺などで用い
られる窓でしたが、そのデザイン性がから城郭や書
院造りの邸宅でも使われるようになりました。